

## 庁議 議事概要

- 1 日 時 令和4年1月31日（月） 9時30分 ～ 9時50分
- 2 場 所 第一会議室
- 3 出席者 市長、副市長、病院事業管理者、教育長、局長（水道局長含む）、危機管理監、総務局次長、区長、議会事務局長、市長公室長、総合政策部長  
（一部出席者はWeb会議システムで参加）
- 4 議 題 千葉市中期財政運営方針について 【方針決定】（財政局）

### [決定事項]

千葉市中期財政運営方針を別紙のとおり決定する。

財政局長 ～資料に沿って説明～

(質問・意見等)

中央区長 歳入確保に向けた取り組みについて、健全化プランから運営方針が変わることだが、成長戦略に基づいて、税収を作っていくという表現がないと感じている。状況が変わってきている中で、投資額が大きく、そこに回す時期ではないということなのか。

基本計画が新しくなるときに、次のステップとして、そういう表現がフレーズ上、入っていてもいいのではないか。

財政局長 議論はあったが、財政運営に重点を置き、まずはプライマリーバランスを図りつつ、財政を維持、向上させていくことを考えている。その中で、歳入確保はまだまだやるべきことはあると思っているが、記載はしていない。

市長 これまでの取り組みで、財政構造の基礎的な体力はついていていると思っている。努力に感謝したい。さらに縮減することについては、市民サービスにしわ寄せがいくので、今後4年間は将来を見ながら、局面転換をして、今の状態を維持していくと理解している。

今後4年間の数字を見ると、起債残高や将来負担費比率は、上がっていくので、対外的に説明するときには、清掃工場や庁舎整備など、既に取り組んでいることがあるためだということを、よく説明してほしい。

プライマリーバランスの均衡と言いつつ、おそらく利息分以上に赤字が広がっていると思うので、そこは積極的に将来に備えるために必要な経費だということで、しっかり説明ができるようにしてほしい。他の取り組みも加味して、全体として赤字幅を抑えているという認識をしてほしい。

これからのまちづくりへの投資について、書いた方がいいと思う。企業立地のための用地の確保とか、経費がかさむものがあるので、税源について全く触れないのもいかなものかと思う。

財政局長 プライマリーバランスと言いつつ、来年、再来年の予算編成の状況を見ると、既に赤字になっており、市債の発行額の方が上回る。矛盾だと言われるかもしれないが、プライマリーバランスは単年度でなく、ある程度の中長期間での均衡を図るものなので、新たな事業や資産経営の部分でバランスを図りながら、予算編成等を行っていききたい。  
 まちづくりの視点については、基本計画との整合を踏まえ、記載を追記したい。

市長 計画は4年間なので、プライマリーバランスの赤字幅は残ってしまう。それをどうするのかという、具体的な取組みを明示できるようにしてもらいたい。他の事業を抑える必要が出てくるかもしれないが、将来的にプライマリーバランスを黒字基調にもっていくための、起債管理のあり方みたいなものを打ち出せるといいと思う。

財政局長 公債費の歳出側は毎年、推計で出てくるので、いくら借りるかという方が問題である。市民サービスに直結する道路整備事情はこれまで抑えてきたため、弊害が出ているので、一定額は確保しつつ、一方で、老朽化施設の建て替えも出てくるので、以下にどう組み合わせるかというところなので、その計画を資産経営課として考えたい。市民生活に関係する部分も確保していききたい。

鈴木副市長 効率的、効果的な事業執行の推進について、経常的経費の削減を図るとあるが、行革指針などがあり、デジタル化や働き方改革の動きがあることを踏まえたい。経常的経費の削減ということでもいいか。  
 従来の単に枠で抑えて、経費削減というイメージになっているので、これからの時代に合った形での経常的経費の削減となるよう表現を工夫したほうがいい。

財政局長 見積もり制限は、色々なやり方があるので、行革指針と整合を取り、こういう視点で経常経費の削減を図る、というような表現を加えていきたい。

市長 いくつかの意見があったかと思うが、大枠では方針決定とする。

## — 結果 —

本会議の意見等への対応を前提に、方針決定とする。

## 5 照会先

- ・会議の運営等について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043(245)5057

- ・議題について

財政局財政部資金課

TEL 043(245)5072